

第 10 回 PDA 首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会 2023

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2023 年 11 月 12 日 (日) 12:00-16:30

会場：東京都立日比谷高等学校

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

 KDDI
KDDI Foundation

参加校：9 校 (日比谷、都立西、三田、湘南、柏陽、県立千葉、県立船橋、浦和一女、県立浦和)

参加者：生徒 64 名、教員 20 名

スタッフ：PDA スタッフ、東京外国語大学、横浜国立大学、PDA 認定教育ジャッジ

4 年ぶりに対面での開催となった首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会。会場の東京都立日比谷高等学校に首都圏から 9 つの高校が一堂に会しました。開会式では、PDA 代表理事の中川智皓から「即興型英語ディベートは『議論しやすい』環境にあります。思ったことを積極的に発信して頑張ってください。」とメッセージが送られました。次に、東京都立日比谷高等学校の梅原校長先生より、「学校によってさまざまな切り口があると思います。そこからたくさんの学びを得てください。」とご挨拶いただきました。また、東京都立西高等学校の萩原校長先生より、「他の学校の生徒と共に切磋琢磨して頑張ってください。」とご挨拶いただきました。続いて千葉県立船橋高等学校の風戸校長先生より、「表現面も意識しながら頑張ってください。」とご挨拶いただきました。続いて、神奈川県立柏陽高等学校の野沢校長先生より、「日頃の練習や授業の成果を発揮して楽しんでください。」とエールをいただきました。そして神奈川県立湘南高等学校の池辺校長先生より、「同じ首都圏でも学校の文化が異なることでしょう。その分得るものも多いと思います。みんなでより高みを目指して頑張ってください。」とエールをいただきました。

その後、参加校の紹介、トロフィー返還式、ルールの確認などが行われました。トロフィーの返還式では、昨年度の第 1 位高校である埼玉県立浦和高等学校の代表生徒が中川 PDA 代表理事へ 1 位のトロフィーを返還しました。



PDA 代表理事中川のご挨拶



日比谷・梅原校長先生ご挨拶



都立西・萩原校長先生ご挨拶



県立船橋・風戸校長先生ご挨拶



柏陽・野沢校長先生ご挨拶



湘南・池辺校長先生ご挨拶



トロフィー返還（県立浦和）



1位から3位に送られるトロフィー

第1ラウンドのお題は“**Students should be prohibited from using ChatGPT. (生徒の ChatGPT の利用を禁止すべきである。)**”でした。肯定側は「創造性や考える力が失われてしまう」という懸念点について説明し、否定側は「有効活用すれば、効率よく学習できる」などのメリットについて説明しました。中には普段から ChatGPT をさまざまな場面で使いこなす生徒もおり、自身が ChatGPT を使用した具体的なエピソードを根拠として説明する場面もありました。また、POI（Point of Information：ディベート中の質疑応答）も活発に行われ、疑問に感じた点などがあればすかさず POI を通して確認したり、議論を深めたりしました。

ディベートが終わり、対戦チームと握手を交わしたあとは、「ChatGPT 使ったことある?」「学校で禁止されていますか?」など、論題に関わる事柄から普段の英語学習などについて会話し、交流を深めました。交流後はジャッジからのフィードバックの時間です。テーブルごとにジャッジから勝敗や個人フィードバックが伝えられました。PDA のディベートでは、個人フィードバックの際に一人一人によかった点と次に向けた改善点が1点ずつ伝えられます。生徒は次のラウンドに向けて少しでも多くのものを吸収しようとジャッジのコメントに真剣に耳を傾けました。



準備時間の様子（都立西）



浦和一女高校 VS 柏陽高校



湘南高校 VS 都立西高校



日比谷高校 VS 県立船橋高校



三田高校 VS Swing



POI で質疑応答



ディベート後の握手



交流を深めます



ジャッジからフィードバック

続く第2ラウンドのお題は、“**Japan should increase defense spending.** (日本は防衛費を増額すべきである。)”でした。具体的な国名を挙げながら、日本が直面している脅威について議論し、日米安全保障条約や自衛隊、Jアラート(全国瞬時警報システム)などの有効性についても意見を交わしました。中には、「防衛費を増額した場合の使途」や「増額しなかった場合、どの予算が防衛費のために削られてしまうのか」などに踏み込んで議論したチームもあり、論題のキーワードに着目しながら分析を深めました。



県立浦和高校 VS 日比谷高校



都立西高校 VS 県立千葉高校



すかさず POI で質問



アイコンタクトも意識



堂々とスピーチ



健闘をたたえ合います



交流タイム



仲を深めます



Swing チームと県立船橋高校

第2ラウンドを終えると、エキシビジョンディベートでディベートをする、「ジャッジが高く評価した代表生徒6名」が発表されました。自身や友人の名前がスクリーンに映し出されると喜びの拍手が送られました。エキシビジョンディベートの前に、笹川平和財団スカラシップの説明が行われ、海外での学習に関心のある高校生たちは、自身が留学する姿をイメージしながら熱心に説明を受けました。



選出を祝う様子(日比谷)



笹川平和財団スカラシップ説明の様子

そしていよいよエキシビジョンディベートが始まりました。論題は“**Cashless payment should be mandatory. (キャッシュレス決済を義務化すべきである。)**”でした。肯定側はキャッシュレス決済の利便性や経済効果について言及し、「海外では導入が進んでいるのに対して日本は遅れている。自身のお金の管理のためにもキャッシュレス決済は有効だ。」と主張しました。対する否定側はテクノロジーの利用が困難であるケースを取り上げ、特定の人が不便になる決済方法を義務化するのはおかしいと論理的に主張しました。POIも飛び交い、白熱した議論となりましたが、ディベートを見学していた生徒・教員の挙手投票により、僅差で肯定側が勝利しました。



大勢の前で堂々とスピーチ



エキシビジョンでも積極的にPOIに挑戦



質疑応答で議論を深めます



PDA認定教育ジャッジの教員による進行

閉会式では、はじめに表彰式が行われ、校長先生から賞状を受け取り、今後の学習のモチベーションを上げました。次に、PDA代表理事の中川智皓から第1ラウンドのテーマであったAIについて、自身の研究分野である機械工学を絡めた解説が行われ、技術発展の目覚ましいこの世の中を生きる上でのアドバイスが伝えられました。続いて、神奈川県立柏陽高等学校の野沢校長先生より、「聞いていてとても心が躍るディベートでした。みなさん、お疲れ様でした。」と労いのお言葉が送られました。最後に千葉県立船橋高等学校の風戸校長先生より、「みなさんから『もう1ラウンドディベートがしたい!』といった熱気が感じられます。ぜひその熱い気持ちを各学校に持ち帰って、先生にも共有し、今後の学習に活かしてください。」と今後の学習についてもエールが送られました。



中川代表理事によるご講評



柏陽・野沢校長先生ご講評



船橋・風戸校長先生ご講評

最後に、本日スタッフを務めた大学生2名が、自身の目線からディベートの魅力を伝えました。青森県立青森高等学校出身の学生と、三重県立四日市高等学校出身の学生の2人は、高校生時代からPDAの英語ディベート活動に勤しみ、この首都圏交流大会同様開催された地域の交流大会にも出場し、PDA全国大会にも出場しました。奇遇なことに2名は全国大会の1回戦で対戦した経験があり、現在は高校生をジャッジする側としてPDAの活動に参加しています。「この出会いは今日だけで終わらず、今後皆さんが大学生になったり、社会で働いたりする中でまた再び会うこともあるかもしれません。この絆をぜひ大切にしてほしいです。」「高校時代のディベート経験が、進学や進路決定、就職活動などにも活かしている。私はディベートが本当に大好きなので、今日皆さんとディベートを通して交流できたことを嬉しく思います。」と伝えました。



先輩からのエール（青森高校卒）



先輩からのエール（四日市高校卒）



集合写真

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

・ PM	東京都立西高等学校	_____さん
・ LO	埼玉県立浦和高等学校	_____さん
・ MG	神奈川県立湘南高等学校	_____さん
・ MO	東京都立日比谷高等学校	_____さん
・ LOR	東京都立三田高等学校	_____さん
・ PMR	東京都立日比谷高等学校	_____さん



エキシビションディベータ賞

〈チーム賞〉

1 位	埼玉県立浦和高等学校
2 位	神奈川県立柏陽高等学校
3 位	東京都立日比谷高等学校
4 位	神奈川県立湘南高等学校
5 位	埼玉県立浦和第一女子高等学校



1 位 県立浦和高校



2 位 柏陽高校



3 位 日比谷高校



4 位 湘南高校



5 位 浦和第一女子高校

〈ベストディベータ賞〉★は2回選ばれた生徒

- _____ (県立浦和) ★
- _____ (日比谷)
- _____ (日比谷)
- _____ (三田)
- _____ (柏陽)
- _____ (柏陽)
- _____ (県立船橋)
- _____ (湘南)
- _____ (湘南)
- _____ (県立千葉)
- _____ (浦和一女)



〈ベストPOI賞〉★は2回選ばれた生徒

- _____ (県立浦和) ★
- _____ (湘南) ★
- _____ (三田)
- _____ (三田)
- _____ (柏陽)
- _____ (柏陽)
- _____ (都立西)



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・学校内でディベートの練習をするとどうしてもアイデアが画一的になってしまうことが多くあったのですが、今回 face to face で他校と対戦することで新たな考え方を得られました。（日比谷）
- ・2試合だけでしたがすごく濃密な時間でした。ありがとうございました。（日比谷）
- ・ディベートのルールやジャッジの仕方など、点数の付け方などを詳しく学ぶことができとても楽しかったです。今回が3回目のディベート体験だったので、もっと練習して全国大会などではより良いディベートができるようにしたいです。（日比谷）
- ・当事者間でなく、第三者からの目線で評価されるのがよかった。（都立西）
- ・もっと成長したい。（都立西）
- ・なかなか自分の言いたいことが言えなくて悔しかったです。もっと経験を積んで、自由に意見を、伝えられるようになりたいと思いました。（都立西）
- ・本当に多くの人とディベートを通して繋がることができ貴重な経験となりました。特にエキシビジョンディベートのレベルの高さに驚き、英語力を高め、練習を積みたいと思います。（都立西）
- ・このような場で正式に講評をもらえるのはとてもモチベーションになりますし、相手さんの戦略なんかがとても興味深くて自分のものにしていく感覚が沢山楽しめる機会だったなと思いました。（三田）
- ・緊張して全力は出せなかったけれど色々なディベーターを見られて自分の改善点をたくさん見つけられてよかった！（三田）
- ・ジャッチの方々のアドバイスから、チームとしての改善点を知れてとてもよかったです。また、自らの課題として、まず一旦言いたいこと(論点)をまとめるということをしたと思いました。（三田）
- ・流暢なスピーキング力だったり、内容を深める思考力だったりに長けている方々とディベートすることができてとても勉強になりました。（県立千葉）
- ・とても楽しかったです。また来年も参加したいです。（県立千葉）
- ・エキシビジョンマッチがとても面白かった。去年オンライン開催だったのもあり、対面でのディベートを楽しめた。もう1ラウンドほしいです。（県立船橋）
- ・普段学校の人としかディベートする機会がないのでめっちゃ楽しかったです。ジャッジの方も細かく指導して下さって有難かったです。（県立船橋）
- ・一試合しか出られなかったのですが、改善点が見つかったり、エキシビジョンディベートがとても面白いものだったり、とても楽しく有意義な時間を過ごせました！ありがとうございました。（県立船橋）
- ・県を超えて交流するのは初めてだし、人生の中でとあまりないことだったので、新鮮感があり、話し方の違いなどを知れて良かったです。（湘南）
- ・強い人のスピーチを参考にできてとても勉強になった。（柏陽）
- ・今日いいなと思ったディベートを真似していきたいと思った。（柏陽）
- ・自分より圧倒的にうまい人を見て自分も来年そう思われるようになりたいと思った。（柏

陽)

- ・普段は部内の小さなコミュニティーでしか討論をできていなかったのですが、たくさんの切り口からの意見を知れて面白かった。(浦和一女)
- ・異なる学校の方から学ぶことが多かったです。論理的な考え方を養っていきたいと思いました。(浦和一女)
- ・今回は応援側だったのですが、他の方のディベートを客観的に見て、自分がディベーター側だったら、できていないだろうなって思ったところが沢山あったので、今回学んだことを活かして、次の機会までに自分の英語力を上達させていきたいです。(浦和一女)
- ・レベルの高い人の考え方を知ることができ、これからの練習に行かせるものが多く得られて良かったです。(県立浦和)
- ・オフラインの大会はほぼ初めてだったんですが、とても楽しくてこれからもこの大会が続いていけばいいなと思いました。(県立浦和)
- ・生徒の成長が見られました。また、楽しそうに交流している姿が生き生きとして良かったです。(教員)
- ・他校の素晴らしい生徒さんのゲームを生で見られた。(教員)
- ・ジャッジの先生方のフィードバックやフォローの仕方にたくさん教えて頂きました。(教員)
- ・ジャッジの先生の視点を学ぶことができました！また、生徒たちも実際に他校の生徒さんと交流でき、刺激を受けたようです！(教員)
- ・生徒にとって同世代の人と自分の意見を交換するという経験は、人生においても非常に貴重な経験であるので、参加させてよかったと感じています。(教員)
- ・対面での参加が初めてなので、実際に相手やジャッジを目の前にすることでパブリックスピーキングの良い練習となりました。人に伝わる英語を話すことが即興で求められるこのスタイルのディベートは本当に英語力の向上につながると確信しています。(教員)
- ・他県の先生かたとの交流もでき、他校での実践を自分の高校でも取り入れて行きたいと思いました。生徒もディベートを通して、さらに力をつけたいと感じたと思います。企画運営の方ありがとうございました。また来年よろしくお願ひ致します。(教員)